

### 神奈川県本部

〒231-0025 横浜市中区松影町2-7-12飯田ビル  
TEL:045-663-4061 FAX:045-663-4062  
メール:nenkinkanagawa@nifty.com

9月5日現勢 組合員 9,190名  
機関紙 5,660部  
年金改善署名 62,401筆



神奈川県版 第251号 2009年9月15日

### 全日本年金者組合中央本部

〒170-0005 東京都豊島区南大塚1-60-20協立第3ビル  
TEL.03(5978)2751 FAX.03(5978)2777  
発行人 篠塚多助 月刊1部100円 送料70円  
昭和57年6月30日第三種郵便物認可



## 囲碁愛好者70人が熱戦 相模原市で県囲碁交流会を開く

県本部20周年記念事業の一つ。「県囲碁交流会」が8月9日、相模原市市民会館で行われ、県下15支部の囲碁愛好者や囲碁天狗70人が参加して熱戦が繰り広げられました。交流会と言っても勝負の世界、対局者は真剣で会場はびりとした緊張感に包まれました。種目は12チーム36人の団体戦と20人の個人戦。団体戦優勝は茅ヶ崎・寒川支部A、準優勝は茅ヶ崎支部、3位横浜みなみB、ブービー川崎合同。個人戦優勝はA級 戸花健一(相模原) B級 根津進(茅ヶ崎)

# 政権交代で年金者組合の出番 結成20周年式典までに9300人 秋の仲間づくり月間を成功させよう

総選挙は民主党が圧勝し、政権交代となりました。

私たちが主張してきた後期高齢者医療制度の廃止、年金受給資格は10年から実現可能になりました。

いまこそ年金者組合の出番です。多くの高齢者、国民が共同して要求実現運動を前進させましょう。この運動といっしょに秋の仲間づくり月間(10・11月)を成功させましょう。

県本部では、秋の月間拡大基準目標として、400人超支部は3%、100〜300人台支

部は4%、100人未満支部は7%をめざして奮闘することとします。

これに360人拡大し、9500人到達を目指します。(6月末比364人増)春の月間では全支部の奮闘で446人の実増を勝ち取りました。秋の364人は可能です。

①9月の支部役員会等で月間の目標、月間中の楽しい支部事業を決める。

②多くの支部が月間中に支部総会を開催します。議案、人事も大変ですが、組合員の力を結集して自ら決めた年間拡

## 県本部結成20周年 10月1日記念レセプション

神奈川県本部が結成20周年を迎え、記念のレセプションが10月1日(木)午後1時から、横浜市中区の労働プラザで開催されます。

第1部は秋の月間成功に向けての出陣式。各支部三役をはじめ、大会代議員など多数の参加をお願いします。レセプションの会費は1人3000円です。

大目標を超過達成して、元氣よく総会を迎えましょう。③あわせて10月1日に県本部として「20周年記念式典、レセプション」を開催します。

## 手洗いが基本 新型インフル エンザの予防方法

世界保健機関は流行時の予防方法として別表の6項目を挙げています。手洗いは15秒〜20秒。手洗いは予防の基本です。感染している人が、くしゃみを押さえた手で階段の手すりやドアなどに触れば、そこにウイルスがつき、他の人がそこを触れると感染します。不用意にいろんなものにさわらないようにします。外出先から戻ったら、まず水とせっけんを使って手を洗いウイルスを流します。手洗いは最低15秒以上、20秒を国の指針で決めています。

マスクの効果は、感染を防ぐよりも、感染した人が、うつさないために使用することの意味があるようです。自分の鼻に不用意に手で触れるのは避ける意味があります。

新型の豚インフルエンザが急速に流行し、厚生省は9月のピーク時には1日76万人も発症すると予想しています。感染してもほとんどは軽度で回復してきます。感染は子供や若年者に多いようですが、高齢者がかかると、重症になるケースもあり、各自が感染しないように予防策を講じる必要があります。

呼吸困難や、息苦しい、嘔吐や下痢が続く。発熱が続くなど、症状が重くなったらすぐに病院で受診しましょう。また各地域の保健福祉事務所でも発熱などの相談に応じています。

流行時の予防法(世界保健機関)

	口や鼻を触らない
	手をせっけんや水などでよく洗う
	症状のある人に近づかない
	人込みにいる時間をできるだけ減らす
	窓をあけて部屋を換気する
	生活習慣を整える。よく寝て、栄養あるものを食べ、運動する

表は朝日新聞より掲載

## 政治が変わる 年金改革の好機

杉沢隆寛(金沢支部書記長)

①自公政権の崩壊と、私たちの要求で多く一致する政党が政権に変わりました。戦後政治史を飾る総選挙でした。新しい政治の幕が上がります。今回の総選挙で国民の最も強い関心は政権交代と年金制度の改善でした。

②まず、全ての政党が一致している年金受給資格25年を10年に短縮して、1000万人を超える無年金者を救済する。

③早くも財界は新政権に急接近。私たちは国会に向け、予算や公約の実行を迫って、財界の圧力を許さず、政権が「ブレ」ないよう運動を進める必要があります。

④選挙制度を国民同士が自由に政治を語り合えるよう、またマスコミの世論誘導にまどわされないうえにも、改革が求められます。

# 入場者 1千人を超す 平塚支部の文化創作展

平塚支部が「第4回年金者組合文化創作展」を8月6日から11日まで、商店街通りの一角にある「市民プラザ」で開催しました。開催初日には地元放送局「FMナバサ」も取材に訪れ、インタビューが放送されました。支部サークルの、古布遊び、書、ちぎり絵、絵手紙、手芸、陶芸、折り紙、写真、俳句など、9サークルの展示作品延べ400点が並び、期間中の入場者数は1153人に上りました。今年からは自信作の販売も取り入れ好評でした。



地域新聞3紙も取り上げた文化創作展

つるし雛を海外の娘さんの結婚祝いに送りたいということから、イタリアに渡るとい嬉しい話もありました。

## 森の涼風に乗って 瀬谷支部が納涼パーティー

春の月間で目標の2倍を達成して元気な瀬谷支部が、暑さを吹き飛ばして秋も頑張ろうと、8月23日、区内の緑深い森林公園で納涼パーティーを開催。車座になった40人が、手作りのご馳走を持ち寄り、やきとり、やきそばで話もはずみ盛り上がりしました。

元わらび座の湊愛子さんが涼風に乗って、しの



食べ飲み語って盛り上がる

# 元気いっばい 再スタート

## 伊勢原支部 女性の会

伊勢原支部女性の会が再開し、念願の第1回総会が8月6日に開催されました。男性組合員も含めた29人の参加に準備委員一同感動しきりでした。伊勢原支部女性の会は古い歴史がありますが、いろいろな事情で一時休眠状態となっていました。

新しい役員体制のもと、太極拳、習字、卓球、カラオケなどの楽しいサークル活動も活

発にし、ハイキング、旅行、入湯会(温泉)等も盛んにして仲間を増やし、満を持しての第1回総会になりました。女性の会が元気を取り戻す事で支部自体も活気づいていきます。



活発な意見も出る総会

激励してくれました。記念講演は長野富貴子さんの「家庭で楽しくエコ生活」。ケーキの試食、生ゴミ堆肥化の実演、日常生活でのチェック項目等充実した内容で、役員参加者一同やる気十分の総会でした。(馬場幸子)

## 年金者一揆2009

10月15日(木)12時  
日比谷野外音楽堂  
★後期高齢者医療制度を廃止  
★年金制度の改革・10年で支給  
総決起で要求実現  
神奈川から組織の10%  
900人以上の参加を

ぶえやオカリナ、アコーディオンでのふるさとのうたを次々に演奏し、みんなも幼い頃にかえって

体いっばいに歌いました。野外のパーティーにささう中で、新しい仲間も3人増えました。(門倉靖司)

## 年金者組合ならではの 韓国交流の旅



板門店では南北の兵士が24時間警戒

県本部が創立20周年記念事業の一つとして「高齢者福祉・韓国交流の旅」を7月6日から4日間の日程で行い、ソウルや板門店を訪ねました。

## 神奈川年金者文芸

- (川柳) 旭 支部 毛利やすひこ  
エコカーも走れば地球を汚します  
アフガンで作物蹴散らし戦車征く  
旭 支部 本間鈍根花  
むなしさを偲ぶ青空終戦日  
玉音に耐えて生き抜き傘寿なり  
横須賀支部 山田 良夫  
報いたい課題一つへ汗の虹  
自分史の読者がつなぐ心の輪
- (俳句) 金沢支部 山田 幸雄  
日焼して飯場出てゆく男かな  
川崎麻生支部 阿部 和子  
秋風や意外と似合うチマチヨリ  
横浜北支部 吉田 一夫  
西瓜割り憂き事すべて其処に在れ  
平塚支部 露木 茂子  
核兵器なき地球へとつなぐ夏  
平塚支部 高橋 福松  
梅雨雲の垂れこむひと日出そびれて  
平塚支部 寺田 公明  
プラットホーム人混むころや半夏雨

## 年金で韓国と初の交流

世界で一番近い韓国で、日本で初めて当県本部が参加した韓国は、参加連帯委員会の活動とマスコミの支持もあり、大きく社会的運動を拡大し、成果をあげています。

国民基礎生活保障制度を例にとると00年度現在、143万人が受給し、4人世帯を基準にすると、00年度106万ウォン(約8万円)等の成果をあげています。



質問、意見など熱のこもった話し合いに

新型「豚」インフルエンザの感染、北朝鮮の核実験で南北朝鮮の緊張も高まるなど、悪条件が重なりましたが、22人が参加して、年金者組合ならではの濃い旅になりました。



世界文化遺産 昌徳宮も見学

はたいへん参考になったと好評でした。休戦ラインの板門店は私たちが考えていた以上の緊張感があり、今なお戦争状態が終わっていないことを実感しました。